

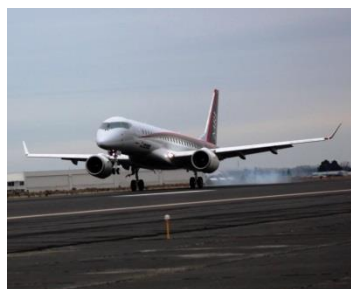


## "Program Update"

### 飛行試験機 4 号機がフェリーフライトを実施

日本時間 11/15、飛行試験機 4 号機 (JA24MJ) が県営名古屋空港を発ち、米国飛行試験拠点があるワシントン州モーゼスレイクへのフェリーフライトを実施しました。

機体は、グアム国際空港、マーシャル諸島マジュロ国際空港、ホノルル国際空港、カリフォルニア州サンノゼ国際空港を経由し、計約 14,000km を飛行。約 18 時間 40 分かけて 11/18 (日本時間 11/19)、グラント・カウンティ国際空港へ到着しました。その後、11/25 より米国での飛行試験を始めております。



グラント・カウンティ国際空港に着陸する 4 号機



フェリーフライト実施後手を振るパイロット



グラント・カウンティ国際空港で並ぶ飛行試験機初号機(奥)と 4 号機(手前)

### 4 機目の初飛行を実施

11/22、飛行試験機 3 号機 (JA23MJ) が初飛行を実施しました。黒いラインが特徴の 3 号機は、機体の操作性など基本的な飛行特性を確認し、約 2 時間のフライトを経て県営名古屋空港に着陸しました。



県営名古屋空港から離陸する 3 号機

## "Hot Topic"

### 全機静強度試験を完了

今月 1 日、県営名古屋空港内の MRJ 技術試験場で実施していた全機静強度試験が完了しました。

全機静強度試験は、設計・製造された機体の強度が航空機を安全に飛行させるために必要な基準を満たしていることを検証・評価するために行われる機体構造試験のひとつです。

2014 年 10 月から実物大試験機を使用し、数十に亘る試験を実施してきました。試験では、あらゆる飛行条件下で想定される最大荷重を機体全体や部分的に負荷し、安全な運用を妨げる変形が無いことや、機体にかかる最大荷重の 1.5 倍の負荷に一定時間耐荷することなどを確認しました。

今回の試験完了により、MRJ の機体構造が型式証明に必要な強度を有することが確認でき、また証明に必要な技術データの取得に成功しました。

今後も、着実に試験を実施していくことで、お客様に安心してご利用いただける高品質な機体の開発を進めていきます。



全機静強度試験 一部の試験実施模様 左:荷重負荷前 右:荷重負荷後